

自力補正式中型ショックアブソーバの取付け、取扱い説明

(MC型マグナムグループ・ショックアブソーバ)

取付け取扱い説明要領に従い、充分注意して設置していただければ、安全かつ長期間に渡って最適な状態で御使用になれます。

取付け概要

設置場所に歪のない、充分強度がある構造物上に自力補正式中型ショックアブソーバを取付けて下さい。(FIG . 1)

ロッド先端のボタンと荷重物体が水平に当る様に調整(最大偏心角度: $\pm 5^\circ$)して下さい。熱を最大限に発散させる為、本体への塗装は避けて下さい。必要に応じ保護板を使用し、酸、スチーム、溶接スパッタ、ヒューム、粉塵等から本体を保護する様に処置して下さい。又、2本以上で併用して御使用の場合は、同一機種を使用し、荷重が均等に分配される様、設置願います。

◎取付部板厚とフランジ取付ボルト

シリーズ	"T" 最小寸法	取付ボルト
MC 33	10 mm	M 6
MC 45	13 mm	M 8
MC 64	16 mm	M 10

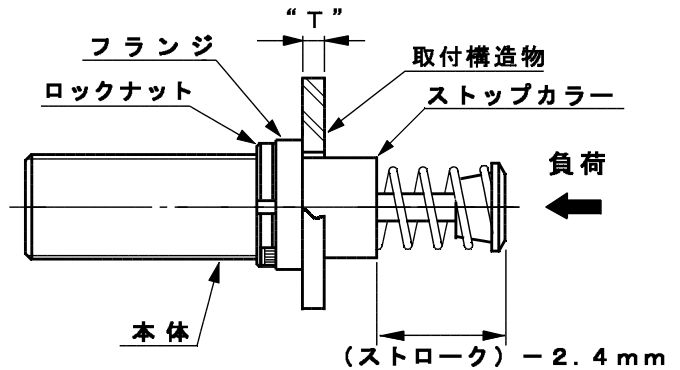


FIG . 1

アキューム・レーター内蔵式アブソーバの取付け

MC型自力補正式中型ショック・アブソーバには、工場出荷時に ATF オイルが充填してありますので、設置後すぐに御使用出来ます。

エアー・オイル・タンクの取り付け

MC A 型及び MC S 型アブソーバには、工場出荷時に ATF オイルが充填してありますが使用前に必ずエアーオイルタンクと配管にて連結して下さい。(FIG . 2)

エアーオイルタンクは、本体から可能な限り最短の位置に、しかも高い位置になる様に設置して下さい。又、タンクとアブソーバ本体間の配管は金属管を使用しなるべく長さが 1.5 m 以内になる様に施工して下さい。配管内径は本体ポートと同等か、それ以上の大きさになる様にして下さい。オイルの流動抵抗が増大する様な配管施工は避けて下さい。

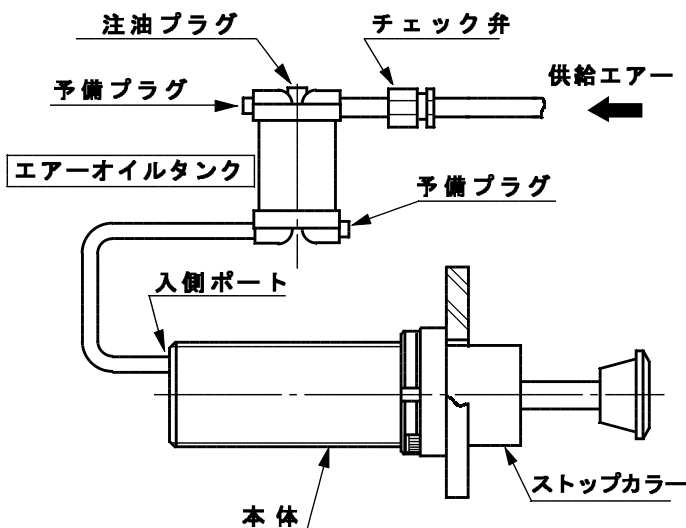


FIG . 2

遮断弁をタンクとアブソーバ本体間に取付けない様御注意下さい。エアー配管上にチェック弁を組み込み、タンクの予備ポートを塞いで、指定のオイルを適量レベルまで注入すれば、(過充填にならない様に注意して下さい。)完了となります。尚、操作空気圧力は 3.5 ~ 7 kg/cm の範囲で御使用願います。以上の様に取付完了後、衝突テストを実施して下さい。万一、ショック吸収が充分でなかった場合には弊社技術担当まで御相談下さい。

◎適合エアーオイルタンク

シリーズ型式	エアーオイルタンク
MC 33	AO - 1
MC 45	AO - 1
MC 64	AO - 3

産業用ショックアブソーバ専門メーカー



エース コントロールス ジャパン エルエルシー

〒101-0046 東京都千代田区神田多町 2 - 9 - 6

田中ビル 3階

TEL: 03-5297-2510 FAX: 03-5297-2517

基本的取付け方法 (FIG. 3)

この設置方式は、ショック・アブソーバ付属の設置用ロックナットを用いて行う方法です。構造物にあらかじめ雌ネジを加工しておき、アブソーバの外側ネジ(雄)をネジ込みます。そして、スパナ・レンチか、ドリフトピンを用いロックナットでしっかりと固定して下さい。ロックナットの締め付けが不十分ですと構造物の振動等で緩む可能性がありますので御注意下さい。

フランジによる取付け方法 (裏面 FIG. 1)

所定のボルトを用い、構造物に自力補正式ショックアブソーバをボルト締めして下さい。このボルトは緩まない様しっかりと締め付けて下さい。(注記：取り付ける前に、フランジより先にロックナットを本体にセットして下さい。本体内側でのロックナット止めが基本です。)

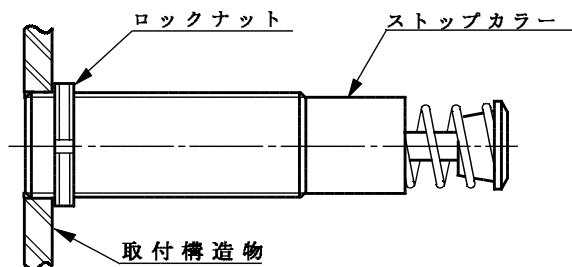


FIG. 3

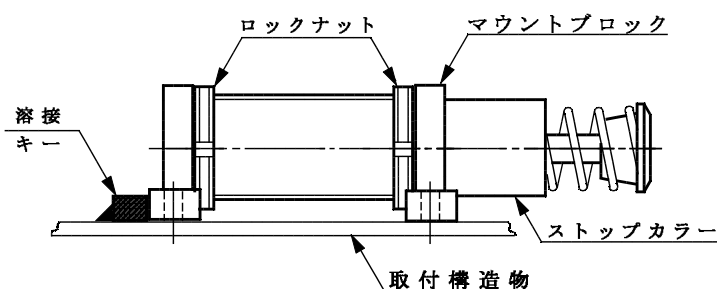


FIG. 4

サイドマウント型の取付け

ボルトを使用して、自力補正式アブソーバ・サイドマウント型を取付構造物に取付けます。(しっかりと、ネジ締めして下さい。) 後足の更に後側にキーを設け溶接で固定する事により、アブソーバの移動防止を致します。(FIG. 4)

クレビス型の取付け

後部クレビスと前部ロッド側クレビスを適合させながら装置にセットして下さい。(FIG. 5) この時、ボトム・アウト(底突き)せずストロークエンドより2.4 mm以上手前で止まる様、本体設置を調節して下さい。

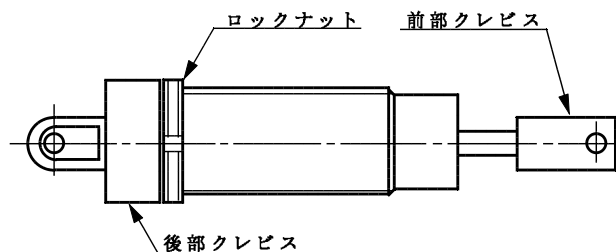


FIG. 5

ショックアブソーバの作動テストについて

上記の様に各取付型式のアブソーバの設置が終了しましたら設備を稼働させて、アブソーバの作動テストを実施して下さい。エース自力補正型ショックアブソーバは調整不要にて、理想的なスムーズなショック吸収を実現いたします。万一、下記の様な症状が出てショック吸収が充分でないようでしたら処置欄の対策が必要になります。その場合には、弊社・技術まで御相談下さい。

症 状	処 置
先端ボタン側でショックが発生。 (はねかえりに近い感じ。)	1段階下のアブソーバの御使用を推奨いたします。 現在のアブソーバではハード過ぎますので、重量効果値レンジ番号のより小さなものが適切です。
ストップカラー部でショック発生。 (アブソーバ機能が働いていない。)	1段階上のアブソーバの御使用を推奨いたします。 現在のアブソーバではソフト過ぎますので、重量効果値レンジ番号のより大きなものが適切です。

産業用ショックアブソーバ専門メーカー



エース コントロールス ジャパン エルエルシー

〒101-0046 東京都千代田区神田多町2-9-6
田中ビル 3階

TEL: 03-5297-2510 FAX: 03-5297-2517